



手賀沼プロジェクト Teganuma Project

Urban Design Lab. Projects 2022



Assis. Prof. Masayoshi NAGANO
M2 Kanae MATSUDO
M1 Keisuke SAHASHI
M1 Hozumi KIKUCHI
B3 Aoi HOSHI

ソトノバ
アワード
2019
審査員賞

「ヌマベリング」の探求と実践—近郊都市生活者と環境の接点を構想する Restoration Design of Lakeside as a Habitat Landscape

プロジェクトの概要

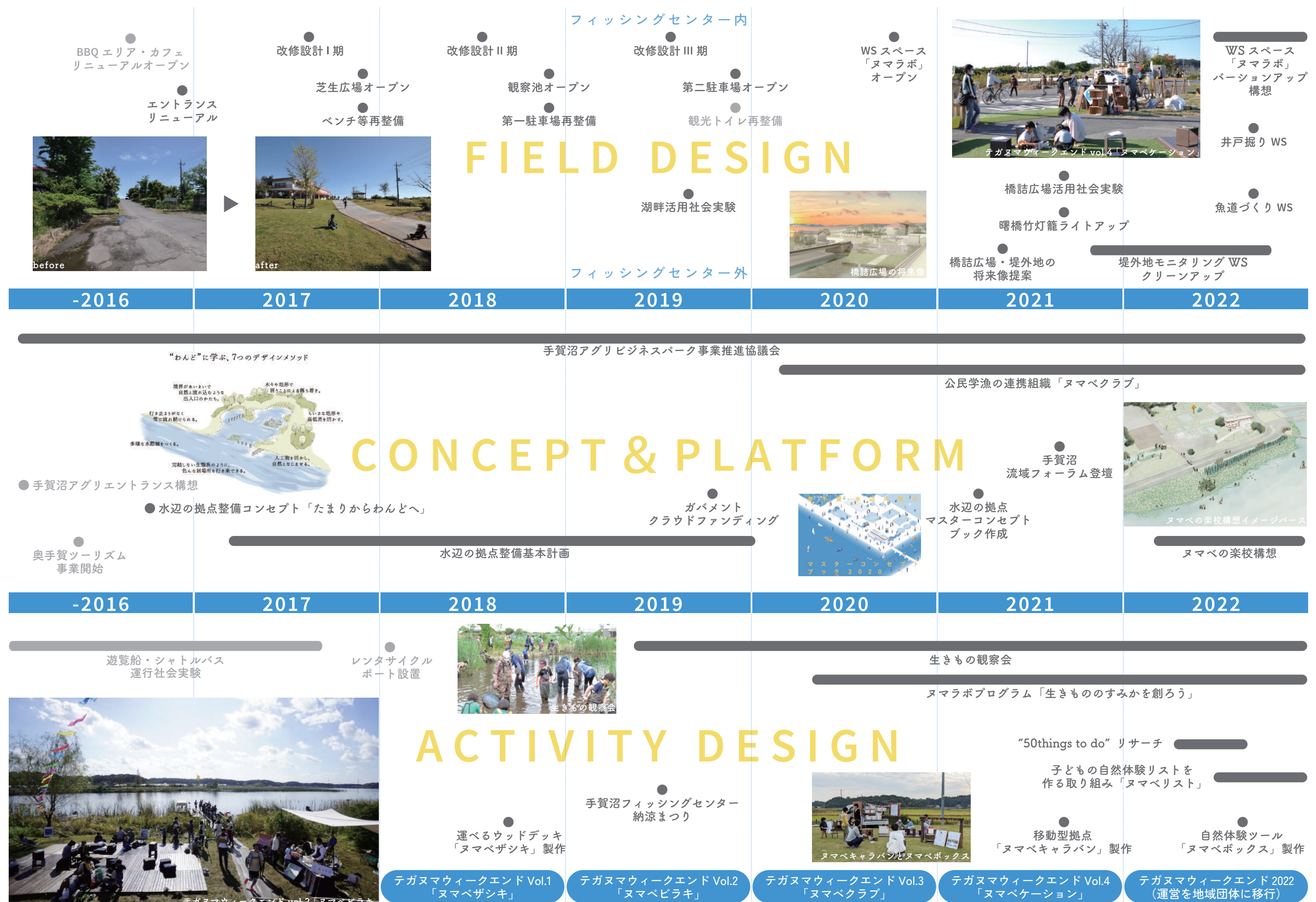
Background

■活動の経緯

千葉県の上野・我孫子は都心へ 20 分の好アクセスにして、近傍に大自然、手賀沼を持つ。かつて日本一汚い沼であったこの地には、関われる自然だけでなく、関わりなくてはならない自然がある。テーマは、沼辺空間を環境を肌で感じるパブリックスペースとしてリデザインすること。2017 年に手賀沼東端の漁協施設・手賀沼フィッシングセンターの改修設計を開始。一昨年より公民学漁が連携する「ヌマベクラブ」を組織した。今後も地域とともに環境共生型のミズベリングを実践する。

■ヌマベの楽校構想

ヌマベの楽校構想とは、都市に暮らす親子に自然の実体験を提供する場所として、手賀沼フィッシングセンター、ひいては手賀沼周辺をさらに育てていくという構想である。昨年より地域とともにこの構想を掲げ、周辺地域に住む親子が日常に近い形で手賀沼に関わっていけるようなきっかけ作りに取り組んでいる。



2022 年度の活動内容

What we have worked on in 2022



- 5 月 手賀沼サイクリング
- 6 月 堤外地モニタリング開始
- 9 月 自然体験集の事例調査
- 10 月 ヌマベボックス WS
- 11 月 ヌマラボ看板・展示作成
- 12 月 井戸掘り WS
- 2 月 手賀沼クリーンデー
- 3 月 対面ヌマベリスト会議
- 3 月 生きもの観察報告会

その他
毎月第 3 日曜日：生きもの観察会
毎月第 3 木曜日：ヌマベ部会
不定期開催：ヌマベリスト会議



今後の展開

Future vision

■活動拠点の整備

手賀沼フィッシングセンター内にある活動拠点「ヌマラボ」が、さらに活動団体にとって使いやすいものとなるよう、引き続き整備を行う。直近では、各団体の活動を紹介するための掲示板製作や、ヌマラボでの活動の展示などを行う予定である。

■子どもの自然体験リストを作る取り組み「ヌマベリスト」

ヌマベの楽校構想のアクティビティデザインとして昨年より始まったヌマベリスト。2023 年度は、親子が手賀沼に関わるにはどのようなきっかけが必要なのかを明らかにするために、リサーチ&アクションを行う。

○リサーチ

- 自然体験プログラム参加者へのヒアリング
- 周辺施設と連携した親子の自然体験に関する大規模アンケート実施

○アクション

- 手賀沼を訪れた親子への自然体験ツール貸し出し & モニタリング